

「国際ガラス年」にリアル復活で存在感を示した glasstec
936 の出展者が 3 万人の来場者と出会い知見を交換

glasstec は、コロナ禍を経てリアル見本市として再出発し、世界のガラス産業に占める地位を改めて示しました。国際ガラス年でもある今年、47 カ国・936 の出展者は、119 カ国・3 万人の来場者に、各社の技術の精髓を披露しました。今回のテーマである気候変動、資源効率性、都市化対応、価値創造、ウェルビーイングに加え、エネルギーコスト高騰、サプライチェーンのボトルネック、熟練労働者の不足など、直面する課題にも焦点が当てられました。3 日間同時開催された、脱炭素化をテーマとする見本市「decarbXpo」も、有意義な相乗効果をもたらしました。

「glasstec2022 は、パンデミックによって余儀なくされた変化と厳しい経済情勢の中で、ガラス産業に再び方向性を示すに最適なタイミングでの開催となりました。参加者は『glasstec は対面式の見本市として、グローバルかつ深い深いレベルでの経験・知識の交流をしかも凝縮して行えるユニークさを持ち、かつ比類のない革新やソリューションのラインアップを提供している』と口をそろえています」

—メッセ・デュッセルドルフ社 取締役 E. Wienkamp

また、Grenzebach Maschinenbau GmbH の CCO 兼取締役であり、VDMA のガラス技術フォーラム議長、および glasstec アドバイザリーボード委員長である E. Wenninger 氏もこの印象を共有しています。「我々は、このフェアの結果にとっても満足しています。今回の出展は、本当に正しい判断でした。チーム内、お客様、そして新しいコンタクトすべてに前向きな姿勢を感じました。各個人と会うことや革新的な製品を現場で見ることができる機会は、ここ数年欠けていた重要な経験です。glasstec のような見本市の重要性を誰もが痛感しており、2 年後の次回開催をすでに心待ちにしています。」

意思決定者が多く、国際色豊か

3 万人の来場者の 75%以上が海外からデュッセルドルフを訪れています。この海外比率の高さは glasstec の世界的な位置づけを裏付けるものです。

同時に、投資決定に関わるエグゼクティブの割合も 75%と、この見本市の質の高さを示しています。来場者は、新しいサプライヤーを探ること、イノベーションやトレンド把握を主な目的としているが、90%以上が「来場目的が達成できた」と回答するなど満足度も高くなっています。

出展者の幅広い展示製品のみならず、特別展示やコンファレンス等の併催プログラムも、glasstec の魅力として意思決定者に訴求力があります。glasstec は知見伝達の包括的なプラットフォームを提供し、熟練工から建築家事務所、ガラス製造から加工、サプライヤーから技術ベンダーまで、すべてのターゲットグループにそれぞれの要求に対する革新と解決策を提示します。

glasstec conference - ガラス産業のシンクタンク

glasstec のプログラムは、5 つのトレンドトピック：「気候変動」「資源効率性」「都市化対応」「価値創造」「ウェルビーイング」に沿って、各分野の理論と実践ノウハウを結集させたものです。ガラス製造・加工・仕上げ、最終ガラス製品、各種アプリケーションに関する講演が行われ、来場者は毎日、現在の開発状況やトレンドについて情報を得ることができた。会議の様子は glasstec のウェブサイト上でストリーミング配信されました。

Foresight ガラスによるサステナブル建築 - 国際建築会議

Foresight 国際建築会議は恒例の併催イベントです。ガラス建築のパイオニアである建築事務所やエンジニアリング会社を代表する 8 名が、約 100 名の参加者を前に、それぞれの興味深いプロジェクトを紹介しました。化石燃料への依存から脱却し、温暖化が進む中でのウェルビーイングの向上させるために、ガラスのファサードが果たす役割について議論され、今日の建築におけるガラスの技術およびデザインの可能性を浮き彫りにしました。

イノベーション・ショー glass technology live

glass technology live は、併催イベントの中でも中心的な存在で、「NEXT IN GLASS」をテーマに最新のトレンドと科学研究成果を大胆に展示し、洞察と展望を提示しました。イノベーション・ショーは、ダラムシュタット、デルフト、ドルトムント、ドレスデンの 4 つの工科大学のネットワークによって開催されました。

Craft LIVE と WorldSkills Germany@glasstec

ホール 10 の特別エリア Craft LIVE では、今年もグレージング業界の熟練工による最高の技術が実地デモで紹介されました。WorldSkills Germany@glasstec では、ポーランドで開催される EuroSkills 2023 への出場権をかけて、ドイツ国内の若手グレージング職人たちが腕を競い合いました。Dieburg 出身の Maximilian Kröger が WorldSkills Germany@glasstec の優勝者です。

ift Rosenheim は、耐火ガラスの耐火性能に関するライブデモンストレーションを行い、火災発生時にガラスがいかに安全な封じ込めを確保できるかを紹介しました。また、特別展示「glass art」では、ガラスで作られたオブジェを展示し、支援プログラムを締めくくりました。

START-UP ZONE - 若い力の市場参入

「START-UP ZONE」には、11 社の革新的な若手企業が参加し、ガラス業界のトップ・デザインメーカーとのネットワークと専門的な交流の場となりました。来場者は、新しい革新的なアプリケーションやソリューションに触れることができました。

第 1 回 decarbXpo、産業界と商業界のエネルギー転換に弾みをつける

産業・商業の脱炭素化を目指す初の国際見本市「decarbXpo」が成功裏に幕を閉じた。デュッセルドルフの展示会場のホール 9 では、15 カ国から約 100 の出展者がそれぞれの技術やソリューションを紹介

しました。同時に開催された 3 つの会議とともに、この見本市は、投資家と産業界のユーザーの双方が、気候保護のための新技術と協力について集中的に情報交換を行う必要があることを示しました。また、glasstec と同時に開催された decarbXpo では、ガラス産業の生産会社がエネルギーコストと CO2 排出量の削減、エネルギー貯蔵について議論し、さらなる注目を集めました。

次回の glasstec は、2 年周期で 2024 年 10 月 22 日から 25 日までデュッセルドルフで開催される予定です。

本ファイナルレポートの全文（英文）は[こちら](#)